

第V部

人的基盤の強化

第1章

プロフェッショナルな自衛隊員

第2章

自衛官の処遇・勤務環境の改善および
新たな生涯設計の確立など

第1章

プロフェッショナルな 自衛隊員

わが国は、グローバルなパワーバランスの劇的な変化の最前線に位置している。その周辺では、軍事力の強化や軍事活動の活発化が進み、取り巻く環境の厳しさと不確実性が増しており、また国際社会の平和と繁栄を支えてきた国際秩序も大きな試練にさらされている。防衛省・自衛隊はこのような現実を直視しながら、国民が安心して生活し、国が発展と繁栄を続けていくための平和と、政治、経済、社会のあり方を自ら決定し、その文化、伝統や価値観を保つための独立を守り抜く役割を担っている。

時代や社会が変化するなかにあっても国家としての日本があり続けるための領土・領海・領空およびそこに住む国民の生命や財産を直接守ることは我々防衛省・自衛隊にしかできない。「わが国を守り抜く」という防衛省・自衛隊だけが担う不変の使命を胸に、絶え間ない研鑽を重ねてきた。

万が一、わが国への侵攻が生じた場合、わが国を守り抜くため、侵攻を阻止、排除する。そして武力侵攻だけでなく自然災害などによる脅威に対しても迅速かつ的確に対応する。発災当初は、全力で救援活動に当たるほか、避難所などでの生活支援活動は、そのほかの様々な事態に対応できるよう自治体や関係省庁などと協力しながら役割分担を明確にして取り組んでいく。

防衛省・自衛隊では先人たちが紡いできたこの国の平和と独立を守るために、当たり前前の明日を迎えるために先端技術をはじめあらゆる英知を結集し安全保障上の課題に挑んでいる。

自衛隊員は、全国各地の駐屯地、基地、艦艇などで勤務するほか、離島や洋上、さらには海外においても任務に従事している。極寒・酷暑の地での警戒監視、強い日差しの上甲板での艦艇運用、航空機の安全運航に不可欠な維持整備、災害現場での被災者支援などにあたってお

り、勤務環境や任務・業務の形態は多岐にわたる。こうした任務は、自衛隊員の職務の特徴の一つと言える。

いかなる過酷な環境や予測不能な事態にも対応しうるように、厳しい訓練や点検、情報収集・警戒監視といった平素の活動を積み重ねている。平時と有事を切り分けることが難しい現代の安全保障環境においては、日常の任務・業務そのものが国家と国民の安全を支える基盤となっている。

自衛隊員の活動は、国民の目に触れる機会が限られているものも多い。洋上・上空や、夜間や悪天候下での任務など、その多くは目立つことはないが着実に遂行されている。そのようななかでも、自衛隊員は常に法令を遵守しながら任務に従事している。

自衛隊員の一人ひとりが、わが国の平和と独立を守るという不変の使命の担い手であり結果を求められるプロフェッショナルである。職種や職務内容、勤務地は違えど、誰もがそれぞれの分野で重責を果たしている。

V部では防衛力の中核である自衛隊員、ひいては人的基盤について記述する。



国旗への敬礼